



令和7年度 渋谷区立鉢山中学校 学校経営方針

令和7年4月1日
校長 白川 智恵子

I 教育目標

社会の変化に自ら対応できる、心豊かな生徒の育成を目指し、次の目標を定める。

挑戦 (Challenge) 創造 (Create) 対話 (Communicate)

<鉢山中3つのC>

Challenge	やってみたいという好奇心、やってみる勇氣、挑戦する行動力、新たな自分・新たな世界を発見し、発展していく
Create	新しい考えやアイデアを生み出し形にしていく、知識や技術・経験を総動員して考え・創造する
Communicate	自分の気持ちや考えをきちんと伝える、相手の気持ちや考えを理解する・追及する、対話を通して考えを発展させる、互いを尊重する

2 経営ビジョン

子どもと大人、みんなでつくる持続可能な学校



夢と希望 + 愛と勇氣



(I) 目指す学校

子どもも大人も

○安心して楽しく過ごせる学校 (安心と喜び)

生徒・教職員が互いによいところを認め合って、一緒になって喜び、感動する

○学びのある成長できる学校 (学びと成長)

自分で考え、行動し、自分のよいところを伸ばし、発揮する

○自分を大切にし、人を大切にする学校 (思いやりと協働)

自分の気持ち、相手の気持ちを考え、行動し、協力して活動する

○未来に向かって創造する学校 (継承と変革)

よいところを継承し、時代の変化の中で創意工夫する

○地域に信頼され、地域に貢献できる学校 (信頼と誇り)

地域に助けられ、地域の力となり、地域の学校として誇りをもつ

(2) 具体的な取組

目指す生徒像①	①主体性と向上心の育成
自ら学び、考え、自分を高めようとする生徒	
・知識・技能を身につけ、情報・資源を活用しながら課題解決に向かう態度を育てる ・自分で課題を見つけ、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する力を育てる ・他者との対話や交流を通して他者から学び、自身の学びを深める力を育てる	
目指す教職員像①	生徒の学ぶ意欲を引き出し、力をつける授業づくりを創意工夫する教職員

□教える授業ではなく、生徒が自ら学ぶ授業

- ・目標を明確に提示し、学習を振り返る場面がある授業
- ・課題に対し思考、判断、表現し、工夫して解決していく発問や課題の設定、学習活動を取り入れる
- ・学習活動においてデジタル技術の活用を積極的に取り入れ、使い分け、使いこなせるようにする

□学ぶ意欲を促す指導

- ・1単位時間ごとに「分かった」、「できた」、「できるようになった」を実感させる
- ・表現活動やパフォーマンステストを充実させ生徒がもつ学力の様々な側面を引き出す
- ・学年の発達段階を踏まえた連続性・系統性、広がり・深まりのある学習内容・活動を展開する
- ・単元テスト等を計画的に行い、基礎・基本が身についているかを確認し、授業を見直す
- ・定期考査では、学習の成果が十分発揮できる問題づくりと結果を踏まえた授業の見直しをする

□共に学ぶ・個別に学ぶ仕掛け

- ・生徒同士が共有、対話、交換を通して、学びを深め、進化させる
- ・生徒の思考や行動をよい方向に導く教師の言葉や身振り、行動を大切にする
- ・生徒がタブレットやアプリ等を活用して、自分に合った学習方法を選択できるようにする

□授業力・指導力向上のための手立て

- ・「リーディングDXスクール」(文科省)や「未来の学びモデル校」(渋谷区)での研究を通して、情報活用能力の育成や主体的・探究的に発展的内容に挑戦する学びについて知識を深め、技術を身につける
- ・校内で授業実践を共有し、アプリの使い方や生徒の学び方を教員同士で学ぶ
- ・年3回の校内授業研究の機会に、一人1回の研究授業を行う
- ・都・区が主催するタブレットを活用した授業や協働的な学びの研究授業等に一人1回以上参加し、校内で共有する

目指す生徒像②	②思いやりの気持ちと助け合いの態度の育成
互いを尊重し、共に成長する生徒	
・自分を大切に、人を大切に、物を大切にする心と態度を育てる ・誰とでも公平にかかわり、協働しながらよりよいものを創造する集団を育てる ・集団や社会の一員として、力になろうとする気持ちやリーダー性を育てる	
目指す教職員像②	生徒のよさを認め、励まし、更に伸ばしていこうとする教職員

□いじめを生まない学校づくり

- ・（自分は）自分の気持ちや考えを人に伝える、発言できる
- ・（相手に）人の話を聞く、言いたいことを理解しようとする
- ・（集団で）よい行動をほめ、見習って行動できる
- ・声をかける（言葉）、手をかす（行動）、思いやっている（心）
- ・未然防止、早期発見、早期解決のための手立て、コミュニケーション、報告・相談の徹底

□気持ちのよい環境づくり

- ・生徒・教職員・来校者が互いに笑顔で挨拶ができる学校
- ・掃除や整理整頓、手入れが行き届いたきれいな過ごしやすい教室、学校
- ・誰にとっても快適な言葉や声の大きさ、行動、身だしなみ、集中できる授業
- ・生徒の名前は「～さん」で呼名（名前はアイデンティティの第一要素）
- ・分かりやすい・見やすい・読みやすい・聞こえやすい発問・指示・問題・授業・環境

□共に成長する仲間づくり

- ・通常の学級と特別支援学級、全校が一緒に学習したり活動したりする機会を設定する
- ・最上級生の自覚と責任をもたせ、中心となって活動し、下級生のよいお手本となる
- ・学級や学校で生徒一人一人が自分のよさや能力を発揮できる機会や場面をつくる
- ・学習や学校行事を通して、生徒・教職員が共に喜び、感動し、次への希望につなげる
- ・保護者や地域、連携協力企業や大学（学生）等、教職員以外の人材と協働して学ぶ

□生徒と教師の信頼づくり

- ・生徒の話をよく聞く
- ・一人一人の心情や状況を的確に捉え、生徒の相談や不安に誠実に丁寧に対応する
- ・よいところを褒め、できるようになったことを認め、生徒の「できる」を信じる
- ・生徒の不安や困りごとを生徒と教師が共有し、次につながる手立てを一緒に考える
- ・生徒の希望や特性を生かした進路選択や進路実現を支援する

目指す生徒像③

③広い視野と行動力の育成

よりよい社会を創造しようとする生徒

- ・課題意識をもって物事を見たり、聞いたりして、新たな発想を生む人材を育てる
- ・広い世界に関心を持ち、自分事として捉え、何ができるか考え、行動できる人材を育てる
- ・仲間と協力して地域や社会でできることに挑戦し、貢献しようとする人材を育てる

目指す教職員像③

子どもと教職員が共に学び、創造し、成長しながら学校をつくっていく教職員
教員としての使命感と情熱、夢と希望をもって子どもを導ける教員

□理数教育の充実（理数教育重点校）

- ・理科・数学等に親しみ学ぶことができる環境づくりを行い、理数学習への意欲を高める
- ・理科・数学等の指導を通して生徒の知的好奇心・論理的な思考力・判断力・表現力等を伸ばす
- ・ハチラボや大学等と連携して、体験的・発展的内容の授業を実施する

□ESD（持続可能な開発のための教育）の推進（ユネスコスクール）

- ・STEAM教育（教科等横断的な学習）を展開し、国際社会の発展やSDGs達成に向けて取り組む
- ・環境、文化多様性、国際理解、平和、人権、教育、食育等をテーマに「知る」、「為す」、「人間として生きる」、「共に生きる」ことを学ぶ
- ・年に2回以上国際デーを記念する学習や活動を通してSDGs達成に向けて取り組む

□主体性のある生徒の育成

- ・テーマ探究やMy探究での探究的な学びを通して、思考・創造・表現する力を伸ばす
- ・生徒が主体的に考え、行動できる場面や活動等を工夫して設定し、自己肯定感をもたせる
- ・探究学習やキャリア教育での学びや多様な人材との交流を通して自分の進路を主体的に考え選択する

□地域連携・小中連携・企業／大学連携の強化

- ・地域行事への参加や教育活動への協力を通じ地域と学校が共に子どもを育て、学校を発展させる
- ・小中一貫教育校化に向けて猿楽小学校と長谷戸小学校との中学校体験や小中連携の日を充実させる
- ・企業や大学等の専門的人材や資源を活用して体験的・探究的な学びを効果的に実施する

そのために校長は

- 明確なビジョンをもち、実効性のある計画を立て、確実に実行できること
- 生徒を第一に考え、教職員を大事に思い、保護者と力を合わせ、地域に貢献できること
- 正しく判断し、潔く決断し、きちんと説明できること
- 学校教育に対して、夢と希望、使命感を忘れずにもっていること

を柱とし、校長が正しく物事を捉え、学校教育を推進していく。学校経営方針について分かりやすく説明し、学校組織として学校教育を推進する。組織が組織として最大限に力を発揮できるよう、教職員の育成及び組織づくりに努める。

